

福岡県篠栗町

まぐり

議会だより

No. 184



平成27年6月議会号

新体制決まる 2

九大演習林の一部購入 4

ここをどうする!?(7人が一般質問) 6

新体制決まる

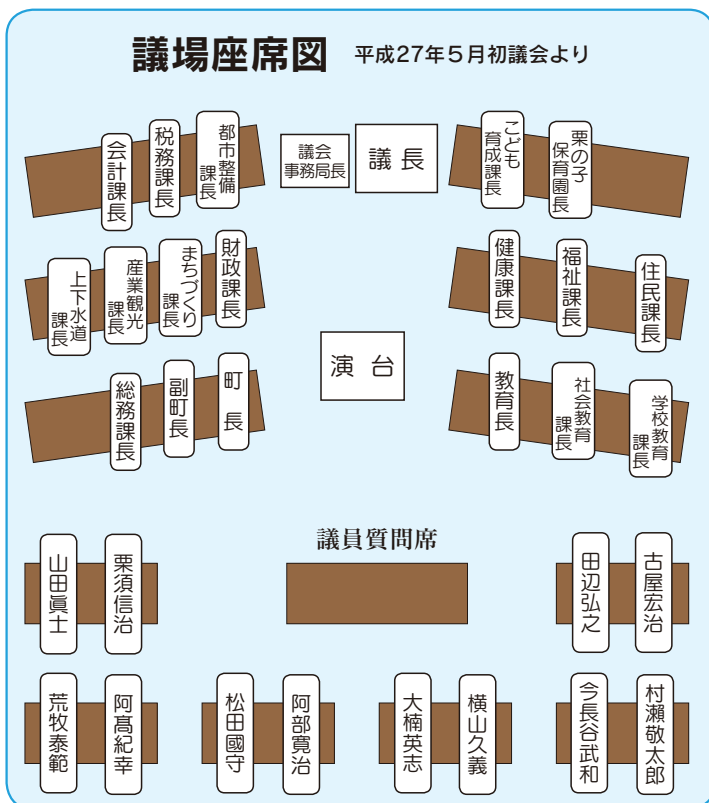
5月11日、町議会議員選挙後はじめての臨時会（初議会）が開催され、新たな体制となりました。3ページに全12人の議員紹介と、主な役職を掲載します。



副議長 阿高 紀幸



議長 阿部 寛治



❖議長就任のあけがし❖

このたび、篠栗町議会議員に推挙されました。地方自治の一翼を担う議会の代表としてその責任の重さを深く感じ、身の引き締まる思いでまいります。戦後70年の節目の時、国は「地方創生」の名のもとに、地方自治は地方自らが、と大きく方針を転換しています。篠栗町の地方自治を推進し、町民が住みよい豊かな町づくりを目指すために議会も大きく変わらなければならぬと痛感しております。常に町民の方々と対話を重ね、篠栗町が進める「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にその声をしっかりと反映させその実現を目指すために副議長と共に力を尽くす決意です。町民のみならず、今後はともご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

篠栗町議会議員 阿部 寛治

新しい議会の顔ぶれ



荒牧 泰範
無所属 6期

議会運営委員会…………… 委員
総務建設常任委員会…………… 委員



**副議長
阿高 紀幸**
無所属 5期

議会運営委員会…………… 委員
文教厚生常任委員会…………… 委員
須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会 議員




**議長
阿部 寛治**
無所属 4期

須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会 議員
粕屋南部消防組合議会…………… 副議長




横山 久義
無所属 2期

総務建設常任委員会…………… 委員




**監査委員
大楠 英志**
無所属 4期

議会運営委員会…………… 委員
文教厚生常任委員会…………… 委員
都市計画審議会…………… 委員



松田 國守
無所属 4期

議会運営委員会…………… 委員長
総務建設常任委員会…………… 委員
議会広報編集特別委員会…………… 委員
都市計画審議会…………… 委員
観光審議会…………… 委員




山田 眞士
日本共産党 1期

文教厚生常任委員会…………… 委員
民生委員推薦会…………… 委員



村瀬敬太郎
無所属 2期

議会運営委員会…………… 副委員長
総務建設常任委員会…………… 委員長
議会広報編集特別委員会…………… 委員
粕屋南部消防組合議会…………… 委員
都市計画審議会…………… 委員




今長谷武和
無所属 2期

議会運営委員会…………… 委員
文教厚生常任委員会…………… 委員長
議会広報編集特別委員会…………… 委員長
都市計画審議会…………… 委員




古屋 宏治
無所属 1期

総務建設常任委員会…………… 副委員長
議会広報編集特別委員会…………… 委員
須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会 委員
観光審議会…………… 委員



田辺 弘之
公明党 1期

文教厚生常任委員会…………… 委員
議会広報編集特別委員会…………… 副委員長
民生委員推薦会…………… 委員長



栗須 信治
無所属 1期

文教厚生常任委員会…………… 副委員長
議会広報編集特別委員会…………… 委員
北筑昇華苑組合議会…………… 議員

6月定例会

6月4日から11日まで、8日間の会期で開催しました。文教厚生常任委員会・予算特別委員会において、町長提案の条例案や補正予算案、専決処分など計8議案を審査しました。また最終日の本会議にて、すべての議案が原案のとおり可決されました。

各議案に対する賛否一覧を5ページに掲載しています。

九大演習林の一部購入へ

九大演習林処分予定地の一部に当たる東側処分予定地、約17ヘクタール(ヤフオクドーム1個分)の購入に伴う関連経費、1億4321万3千円を全員賛成で可決した。

この地域では、周囲の自然環境や景観との調和をとりながら、新たな産業用地として計画的な土地利用更新が図られることになっており、将来的な雇用創出・税収増が期待される。



購入予定地 (赤枠内)

萩尾・荒田地区へ光ケーブル敷設

地域住民からの強い要望を受け、萩尾・荒田地区に光インターネットケーブルを敷設する事業を全員賛成で可決した。町の整備事業負担金は2500万円。

高速インターネット接続が可能になることから、生活利便性の向上や各種情報の早期取得が可能になる。

また、設計・デザイン・コンピュータプログラム等の事務所や工房など、環境を重視する企業の進出の可能性があることなどが、利点とされている。

運営法人選考委員会条例を制定 (栗の子保育園)

町立栗の子保育園の運営主体となる法人を選考、審議するため町長の諮問機関として、委員会設置の条例が制定された。

問 委員会の構成と委員の任期は。

答 構成は、7人以内で、選考の基準は、学識経験者・保育園運営識見者・保護者代表と町長が必要と認める者で組織し、その任期は※所掌事務が完了するまでとする。

問 保育に係る法人経営を行う委員は、当該法人が対象となり得るか。

答 応募対象から除外し、公正で適切な選考を行う。

※所掌事務 特定の機関の権限でつかさどる事務。

一般会計補正予算の主な歳入・歳出は表1および表2のとおり。
特別会計については、人事異動等に伴う人件費の補正を行うもの。

(表1) 歳入の主なもの

(万円未満 四捨五入)

地方交付税（普通交付税）	7161万円
国庫支出金（社会保障・税番号制度カード委任事務交付費補助金）	1091万円
繰越金（前年度繰越金）	1億円

(表2) 歳出の主なもの

財産管理費（九大用地購入）	1億4321万円
企画費（光インターネットケーブル敷設整備事業負担金）	2500万円
人事異動による人件費	1064万円
繰出金（国民健康保険・後期高齢者医療特別会計へ）	△765万円

(表3) 各会計補正予算額

会 計		補正額	補正後予算額
一般会計		1億8252万円	94億9938万円
国民健康保険特別会計		△134万円	37億5646万円
後期高齢者医療特別会計		△632万円	3億9216万円
下水道事業会計	収益的支出	7万円	7億9070万円
水道事業会計	収益的支出	367万円	5億1450万円

27年度国保特別会計補正予算 専決処分

26年度の国保特別会計に歳入不足が生じたため、27年度会計から8500万円を繰上充用

※専決処分

緊急で、議会を招集する時間がない場合などに限り、議決をせずに町長自らが決めること。
専決処分した場合は次の議会で報告し、承認を求めなければならない。

議決結果一覧表

議案番号	議 案 名	議 決 結 果	
5月11日臨時会	選挙案1 篠栗町議会議長の選挙	阿部 寛治	
	選挙案2 篠栗町議会副議長の選挙	阿高 紀幸	
		篠栗町議会常任委員会委員・議会運営委員会委員・篠栗町議会広報編集特別委員会委員の選任	3ページの議員紹介に記載
	選挙案3 粕屋南部消防組合議会議員の選挙		
	選挙案4 須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会議員の選挙		
	選挙案5 北筑昇華苑組合議会議員の選挙		
	30 専決処分の承認を求めること（専決第1号） 〔篠栗町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定〕	全員賛成	
	31 専決処分の承認を求めること（専決第2号） 〔篠栗町税条例等の一部を改正する条例の制定について〕	賛成10：反対1(山田眞士)	
	32 篠栗町附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成	
33 監査委員の選任	全員賛成		
6月定例会	34 専決処分の承認を求めること（専決第3号） 〔平成27年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）〕	全員賛成	
	35 篠栗町立栗の子保育園運営法人選考委員会条例の制定	全員賛成	
	36 平成27年度篠栗町一般会計補正予算（第1号）	全員賛成	
	37 平成27年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全員賛成	
	38 平成27年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全員賛成	
	39 平成27年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計補正予算（第1号）	全員賛成	
	40 平成27年度篠栗町水道事業会計補正予算（第1号）	全員賛成	
	発議第1号 〔篠栗町自然環境・新エネルギー対策特別委員会〕の設置に関する決議	全員賛成	

7人が一般質問

7人が一般質問

1. 松田 國守 議員……………7
 - ・ 先進的な鳥獣害対策の発信を
2. 田辺 弘之 議員……………8
 - ・ わかりやすい行政講座の実施を
 - ・ マイナンバー制度の周知をどう図っていくのか
3. 大楠 英志 議員……………9
 - ・ 「ふるさと納税」で町の財源確保と活性化を
4. 山田 眞士 議員……………10
 - ・ 中学卒業まで医療費の無料化を
5. 横山 久義 議員……………11
 - ・ 全額補助の宝くじ助成事業を使って区管理の防犯灯の整備を行っては
6. 今長谷 武和 議員……………12
 - ・ 安全に通学できる通学路対策は
 - ・ 通学路の定期点検はなされているか
7. 荒牧 泰範 議員……………13
 - ・ 再度、書店の誘致を望む
 - ・ 篠栗駅横自由通路の利便性向上を願う

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会の中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。



松田 國守

先進的な鳥獣害対策の発信を

町長「我が町の取り組みを発信する」

問.....

鳥獣害による農作物の被害は、ここ数年二百二十億円から二百三十億円で推移していると報道されており、我が町の被害も後を絶たないようである。

このように全国で深刻化している鳥獣害防止問題に、早くから取り組んでこられた兵庫県立の森林動物研究センター設立者の林良博氏は、「人」と「野生動物」として「自然環境」との調和のとれた共存を目指して、先進的な調査・研究を行い、それ

に基づいた具体的な取り組みを実施し、大きな成果を上げて来られたと聴く。

氏は、「広域化、多様化する農林業被害や生活被害を軽減しつつ、野生動物と地域住民との調和のとれた共存社会を実現すること」は、生易しいことではないが、自然環境の保護と共に、種として存続できるような適切な生息地の保全管理を行うべきだ。そのためには、都道府県ごと、少なくともブロックごとに科学的な調査研究を行うセンターが不可欠である」と言われている。

町長は「平成27年度は地方創生の具体的な事業展開を行う初年度で、『篠栗町 まち・ひと・しごと創生総合戦略』を創り上げ、地方創生を実践する先進地篠栗となるよう最大限

の努力をする」と決意を述べておられる。

この際、地方創生の一環として前述のような、あるいは、それに準ずる取り組みの啓発を内外に発信するお考えはないか。

見解をお尋ねする。

答【町長】

林良博氏の取り組みは、「ワイルドライフ・マネジメントの推進」と承知している。

質問は「地方創生の一環としての鳥獣害対策の取り組み」についてであるが、福岡県においては、特定鳥獣であるイノシシとシカについて、それぞれ保護管理計画が策定され、モニタリングの実施によりデータ収集が行われ、概ね2年ごとに計画の見直しが実施されている。

その計画の対象市町

村でもある篠栗町では、数年前から山の姿を自然の里山に戻す取り組みを地道に続けており、こうした取り組みを各方面に発信し、他市町村においても同様な取り組みがスタートできるように努力して参りたい。



わかりやすい行政講座の実施を

町長「今後の検討課題として考えたい」



田辺 弘之

座」の定期的な開催を検討する考えはあるのかをお聞きしたい。

答【町長】

自治体の業務が多様化するにつれ、その内容は複雑なものとなっており、行政運営に関心を持つ町民が確認することができる透明性や説明責任の確保が必要であると認識しており、町民と対話することの重要性を感じている。

町政づくりを進めるためにも対話のまちづくりで行政運営への関心を高めてまいりたいと考えている。

町長は、「説明責任」を果たすことに重きをおいてきたが、今後はこれまでの取組みを活かしながら、「対話」のまちづくりを実践していくと言われた。

町民が、主体性を持ってまちづくりに喜びを感じる意識の創造のためにも、クリエイティブな会議室を使用し、わかりやすい「行政講

マイナンバー制度の周知をどう図っていくのか

町長「広報紙やホームページでお知らせして参りたい。」

問

平成28年4月より社会保険・税番号制度、通称マイナンバー制度が実施される。

今年の10月より、住民票に登録された住所に12桁のマイナンバーを記載した「通知カード」が送られる。プライバシーに関する重要なことだが、まだまだ意味が浸透していない。

国が決めた制度ではあるが、町を通して簡易書留で書類を届けることになるが、どういう方法で、町民に対して周知を図っていくのかをお尋ねしたい。

答【町長】

本年3月、広報ささ

ぐりで、マイナンバー制度の概要についてお知らせしているが、町民に十分に浸透していないとの指摘もあるので、10月のマイナンバー通知、来年1月のカード交付に工夫を凝らしながら、8月号の広報紙やホームページで、みなさまにお知らせして参りたい。



マイナンバー キャラクター
マイナちゃん



大楠 英志

「ふるさと納税」で町の 財源確保と活性化を

町長「関係機関と協議を重ね
実現に向けて進めたい」

【問】

今、ごこの自治体も知恵を出して財源の確保と町の活性化に懸命に取り組んでいます。

「ふるさと納税」においては、寄付を頂いた方にその地域の特産品や謝礼の品物などを送っている。これが全国に大変なブームを起しているという。

「ふるさと納税」制度が発足して現在までの寄付件数と、総額を尋ねる。

【答】町長

本町への「ふるさと納税」の寄付件数は、平成20年の施行以来27年の5月末現在で、9名の方から延べ25件318万4千円の寄付が行なわれ、貴重な財源となっている。

【問】

「ふるさと納税」ベーストテンに九州から5市町が入っており、1位は平戸市で14億6千万円（平成26年度）。

また、久留米市は、平成27年度の目標額1億円をわずか半月で達成している。（5月末現在・2億8092万円・4480件）

他の自治体においても、この制度により多額の税外収入を得て財源確保を図っている。

篠栗町も観光の町として森林セラピー、霊場体験や旅館の宿泊無

料券等のサービスをふるさと納税の目玉商品としてはいかがか。

観光協会が推進している商品開発・旅行プランや商工会・JA粕屋等との連携ができれば充分対応はでき、活路は開けると考えられる。ふるさと納税制度の取組みを強化し、財源確保と地域活性化をはかるべきと提案するかがいかがか。

【答】町長

篠栗町観光協会で特産物の開発に努力している。リピーターを確保できる特産品開発を目指している。

また、森林セラピーや霊場体験、旅館宿泊などの体験型サービスに関しては、地方創生において6月26日から発売される「福岡よかとこ旅行券」で町内宿泊施設が宿泊費半額で

利用できることから森林セラピー体験ツアーをおりませたプランを実施することにしてはどうか。

「ふるさと納税」による税外収入を確保するには持続可能な基盤整備が必要で、関係機関との協議を重ね、実現に向けて進めたい。

【問】

平戸市において「ふるさと納税」九州・沖縄サミットが開催される。参加の予定はあるか。

【答】町長

担当課に指示をしてまいりたい。

中学卒業まで 医療費の無料化を

町長「慎重に検討したい」



山田 眞士

問

福岡県知事は人口減少対策として乳幼児医療助成を小学校6年生まで対象年齢の引き上げを大幅に拡充することを検討すると述べている。

この事から市町村に對する補助金の割合が、現行基準が維持された場合は50%である。

この軽減分を活用すれば中学卒業までの医療費無料化は可能だと考えられる。

また地方創生による交付金も活用できると国会でも言われている。

篠栗町の未来を担う子どもたちの健康を守ることは児童福祉の観点から自治体の務めでもある。ぜひとも医療費の無料化を中学校卒業まで拡充することを検討していただきたい。

答【町長】

県の補助は現在でも所得制限を設けており、本町では所得制限を設けていないので、その分は町の単独負担となっており、議員のお話の50%補助をいささか超えて町の財政負担が広がることとなる。

今回の県の改正についても、所得制限が設けられることが考えられる。

そこで、町の負担が増加する。対象額についても、子どもの9割弱は、社会保険等の被保険者、被用者保険加入者で、町ではその医

療データ等を把握できていない。

今後は、制度の改正に向けては、しっかりと情報を集め、近隣自治体と協力し合い、情報交換をしながら進めてまいりたいと考えている。

中学卒業までの拡充に向けては、一気に進めることは難しいが慎重に検討したい。





横山 久義

全額補助の宝くじ助成事業を使って 区管理の防犯灯の整備を行っては

町長「積極的に利用したいと考えている」

問……………

宝くじの収益金を原資とした助成事業の中で自治体にとって馴染みが深く、有益な事業にコミュニティ助成事業がある。

この事業は1件当たりの助成が300万円未満であれば、全額を助成してもらえ地域コミュニティの充実を目指す地域にとっては魅力のある事業である。

わが町では過去に屋根付き相撲場をこの事業に利用し建設した経緯がある。最近この事業を活用した事例を教

えてもらいたい。また今後どのように活用されようと考えているのかも合わせて聞つ。

町長が目指してある「協働の町づくり」を成功させるために地域コミュニティの充実は欠くことができないと考える。そのことも念頭において答弁された。

答【町長】

コミュニティ助成事業は

○平成21年度はバドミントン兼用の支柱等の購入に150万円。
○24年度は校区づくり協議会で取り組んでいる芝の管理に必要な機械備品や津波

黒公民館のテントやテーブル等の備品購入など2件で440万円。

○25年度は金出公民館のテントやアンテナに250万円。

○26年度は田中公民館のテントや太鼓などに220万円。

○今年度も中町公民館の備品購入に250万円の助成を受けている。

今後の活用方針について、助成事業の内容を十分把握し、積極的に申請していきたい。

問……………

かなり活用されているようだが、予算審議や決算のとき「宝くじ助成事業」を使ったことを言ってもらいたい。

区が管理する防犯灯もこの事業に含まれる。新規の設置や省エネタイプへの更新等を町全体でまとめる方法もある。

また、災害時の避難場所に公民館が充てられているが、残念なことにシャワー施設がない。そういうものも含

め今後検討されたらどうか。

答【町長】

この宝くじのコミュニティ助成事業も使えるものがあると思えば積極的に利用したい。

安全に通学できる通学路対策は

教育長「時間帯の一方通行も含めた安全確保を検討したい」



今長谷 武和

安全に通学できる通学路対策はどのように考えてあるか。

【答】教育長

各小中学校の通学路指定はPTAが主体となり安全を優先し、学校と協議の上で決定している。子ども達の通学路の安全を守るために次の2点の取組を行っている。

- ①地域の皆様による見守り活動では、230名の方に登録頂いており、PTAと協力しながら安全を確保して頂いている。
- ②登下校時間に合せて、分校も含めた4小学校区を青パト巡回し、安全指導を行っている。

【問】

狭あい通学路では、時間帯を定めた一方通行を検討されてはいか

か。

【答】教育長

時間帯の一方通行等を含めて「篠栗町通学路安全推進会議」の中で、最適な子ども達の安全確保の方法を検討したい。

通学路の定期点検はなされているか

教育長「通学路安全推進会議を開催し検討と検証を重ねる」

【答】教育長

平成24年に全国一斉の通学路緊急点検が国・県・町と警察、学校関係

教育委員会が参加して実施され、本町においても18箇所危険箇所が指摘された。

信号機の設置や道路改良に伴うものが15件、交通安全指導で改善できる箇所が3件であった。18箇所の危険箇所については26年度末迄に改善を終えた。

新たに危険箇所が指摘されたものは、本年度より「篠栗町通学路安全推進会議」を開催して通学路の改善に努める。さらに実施した対策の効果を検証する通学路交通安全プログラムを作成し検討と検証を重ねていく。



病院横通学路



荒牧 泰範

再度、書店の誘致を望む

町長「継続検討中である」

問……………再度、書店の誘致を望む。

住民福祉の一環と捉え実現を図って頂きたい。

答【町長】継続検討中である。地方書店支援の全国展開書店社長と誘致の協議中。

篠栗駅横自由通路の 利便性向上を願う

町長「橋上化実現へJRと協議を進める」

問……………

元来、私は篠栗駅の橋上化をなすべきと思っておるが、町の現在の財政状況等を考えると今すぐと言う訳には行かないようだ。

そこで町長は駅の南北アクセスを向上させるため、自由通路設置を計画されているが、現在の計画だと駅北側にロータリーを設け、そこで送りの車を降りて自由通路を渡り駅の入り口へ向かうようになっている。

しかしながら、朝の秒単位の通勤・通学時間を考えると、女性や高齢者の足の速さでは、送る方も正面に回った方が早いと判断される

事が多いと思う。

そこで、自由通路途中に駅1番ホームへの昇降口を設け、ホームに降りた所に自動改札機を設置してもらえば、利便性が向上すると思うがいかがか。

1番ホームなら以前要望された駅北口開設よりも駅員の方もスムーズに対応出来ると思われるのでぜひ実現していただきたい。

答【町長】

自由通路建設は、法定手続だけで1年弱を要し、決定まで2年半かかった事業だ。

通路途中から1番ホームへの昇降口を設けるには、JR協議は

もちろん基本設計を見直し、都市計画決定の変更、更に内定まで1年を要した交付金手続きなど、それらを全てやり直す事になる。

又、仮にその様にした場合、通路横にビーム柱という電線を張る重要構造物があり、それが等間隔に何本も設置してあるため、かなりの移転費用と時間がかかるとのJR側の回

答を得ている。

加えて、自動改札機の設置費用も含めて、JRの費用負担も大きく、実現は難しいと考

える。通路は橋上駅をイメージ出来る形状であるから実現に向けてJRと新たな協議を進めたい。ご意見は協議を重ねる中で再度問い合わせてみる。



JR篠栗駅東側自由通路（仮称）

輝くまちの宝

下町区アンビシャス農園で収穫した
玉ねぎ、じゃがいも、人参。
みんなでカレーライス作り!!
真剣な顔でジャガイモの皮むき。
大きなお鍋でカレーが出来上がり、
おじいちゃんとおばあちゃんと
一緒にいただきまーす♪
おいしかった!!



(下町区アンビシャス広場料理教室)

9月議会は
9/8(火) 開会
9/10(木) 一般質問
の予定です

田辺 弘之

年に一度、篠栗町立図書館では、「閉架書庫開放」という催しがある。
普段は公開されていない本を収めている部屋を数日間見せてくれる。
主に借り手の少ない古い本を収納しているところ。
入ってみると、こんなに有名な本が…というものもたくさんあった。
図書館も年々利用者が少なくなってきたという噂だ。町には書店もない。
本は心を豊かにするところ。地方創生の今、心も同時に豊かにしていかなければならない。

旬花衆灯



発行責任者 議長 阿部 寛治

議会広報編集特別委員会 委員長 今長谷 武和 / 副委員長 田辺 弘之
委員 松田 國守・村瀬 敬太郎・栗須 信治・古屋 宏治

平成27年8月1日発行

発行 / 篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町大字篠栗4855-5 TEL092-947-1111 FAX092-947-1442 印刷 / 株式会社三光